

## 平成24年度第1回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時  
平成24年8月23日(木)  
開会 午前10時00分  
閉会 午前11時30分
- 2 開催場所  
尾張旭市役所3階、302、303会議室
- 3 出席委員  
白坂委員、谷口委員、戸谷委員、中西委員、成田委員、原委員、松原しず  
委員、松原八壽雄委員、山下委員、渡邊委員 10名
- 4 欠席委員  
上井委員、本間委員 2名
- 5 傍聴者数  
0名
- 6 出席した事務局職員  
秋田副市長、加藤市民生活部長、森課長、森田係長、廣岡
- 7 議題等  
議題 会長の選出について  
議題 会長職務代理者の指定について  
議題 ごみ減量計画(後期計画)の進捗状況について  
報告 平成24年度予算について  
報告 一般廃棄物処理基本計画の策定について
- 8 会議の要旨  
・副市長が開会のあいさつを行い、あいさつ後、他の公務により退席した。  
・多川前会長及び株式会社エコペーパーJPの水野委員から辞任届が提出された  
ため、自治連合協議会の戸谷氏、株式会社エコペーパーJPの原氏を新委員に  
任命したことを報告した。

### 会長の選出について

- ・多川前会長から辞任届が事務局に提出されたため、次期会長を選出する必要  
がある。会長不在のため会長職務代理者である成田委員が座長となり、会長  
の選出を行った。

### 【結論】

- ・立候補が無いため、事務局から自治連合協議会の代表である戸谷委員を会長  
に推薦し、委員全員の賛成を得たため戸谷委員を会長に選出した。

### 会長職務代理者の指定について

- ・尾張旭市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項に基づき、戸谷会長が会長職務代理者として成田委員を指名し、本人の了承が得られたため、会長職務代理者は成田委員に決定した。

### ごみ減量計画（後期計画）の進捗状況について

- ・資料1により事務局から説明した。また、資料1の6ページ上から3行目の平成23年度実施状況で、「ボランティア団体生ゴミ資源化協力隊の支援を受け、保育園、小学校にコンポストを設置し、」の「小学校」を削除し、同6ページ最上段右端の「平成23年度の事業・活動計画」は「平成24年度の事業・活動計画」に訂正するよう依頼した。

#### 【説明の概要】

- ・平成23年度の実績では、5つの指標のうち資源化率を除く4つの指標で平成23年度目標値を達成できている。
- ・平成23年度の主な取組事業として、生ごみ処理機等購入補助金交付要綱の改正、粗大ごみの有料化、ごみ分別ガイドの改訂及び全戸配布、あさひ訪問収集の本格導入、リサイクル広場リニューアルオープン、市の剪定業務に伴い発生する剪定枝等のリサイクル処理の促進、生ゴミ資源化協力隊との協働による生ごみ減量の取組み内容について説明した。

#### 【意見等】

- ・3ページから6ページの「評価」欄の が明確でない。（松原委員）  
ごみ減量計画では、 は実施、 は一部実施、×は実施していないと規定しているが、事務局では「取組内容」が達成できているものを 、取組んでいるが、取組内容が達成できていないものを としています。事務局の評価であるため、評価が正しくない場合はご指摘ください。（事務局）
- ・あさひ訪問収集の詳細説明と現在の登録件数を教えて欲しい。（白坂委員）  
要支援・要介護認定を受けた高齢者、障がい者のみの世帯のうち、環境事業センター職員による事前調査で認定された世帯を対象としています。市が貸出すカゴに週1回、可燃・不燃・資源に分けて玄関先に置いておけば、市の職員が直接収集しています。現在、市内約80世帯が当制度を利用しています。（森課長）
- ・申請は本人しかできないか。（白坂委員）  
本人及び介護事業者などの関係者でも申請可能です。（森課長）
- ・指標の1つ「資源化率」のみ目標達成ができていないのは、資源の収集方法が多様化し、スーパー等で回収される資源ごみが資源化率に計上されないためか。（成田委員）  
確かに目標値を設定した平成14年度は、事業者が回収するような社会情

勢ではなかった。また、目標達成できない他の要因としては、古紙・缶等の有価物の抜き取りも考えられます。（森課長）

- ・リサイクル広場で無料提供しているリサイクル品は、提供中の物を確認するには現地に行かなければならない。品目や写真を広報やホームページに掲載してはどうか。（山下委員）

あげます・ください情報については、ホームページ上には掲載しているが、写真は情報提供いただけなかったため掲載できていません。また、今後は、市民がリユースしてもらいたい物品を可能な限り実際にリサイクル広場に展示するなど少しずつ拡張できればと思います。（森課長）

- ・ごみの減量化が進めば収集回数も減り、ごみに係る費用も減額する。例えば、燃えるごみは週2回の収集を週1回にすることで大幅なコストダウンになる。（松原委員）

収集回数の減少が可能ならコストは減らせるが、現状では燃えるごみの収集回数を減らすのは市民要望を考えると難しい。実際には戸別収集にしてほしい、プラごみは毎週の収集にして欲しいとの要望が多く、どちらも逆に現状より経費が掛かってしまう。ごみの減量が更に進み、燃えるごみを現状の週2回から週1回にしても支障がないといった状況を作り出せるように、更なるごみの減量化に努めたいと考えます。（森課長）

#### 報告 平成24年度予算について

- ・資料2により事務局から説明した。

##### **【意見等】**

- ・尾張東部衛生組合負担金が昨年度より1,200万円増額している。ごみは減量傾向なのに何故ごみ処理費用は増えるのか。（松原委員）

尾張東部衛生組合の負担金には、ごみ量に無関係に掛かる人件費、設備維持管理費などの固定費部分も多く、ごみの増減だけが単純に負担金の増減に直結することにはなりません。組合に確認すると、平成24年度は退職者が多く、例年より退職金が多く計上されていることが負担金増の大きな要因とのことです。また、ごみの直接搬入による処理手数料の値上げで、事業系ごみが減少し、処理手数料の収入も減っているとのことです。（森課長）

- ・近年は、事業者もリサイクルを重視しており、ごみ自体をなるべく出さないように努力しています。また、景気が悪いため生産活動自体も衰退傾向にあるため、ごみは減量傾向にある。（原委員）

#### 報告 一般廃棄物処理基本計画の策定について

- ・資料3により事務局から説明した。

### 【意見等】

- ・一般廃棄物処理基本計画策定会議に対して、審議会は関与しないのか。  
(松原委員)  
策定会議と審議会は別の組織になります。審議会はあくまで審議するための機関です。計画の素案等ができたらご審議いただきます。(森課長)
- ・計画策定にあたり、目標値を定めるための指標はあるか。(松原委員)  
国・県の数値を参考に、市の実績値を基に目標数値を決定します。(森課長)

### その他

- ・市民を対象としたごみ処理施設見学会を11月に開催予定です。委員の方も是非ご参加ください。(事務局)
- ・尾張旭市循環型社会推進会議ではメンバーを募集しています。委員の方で推進会議の趣旨に賛同いただけたら是非ご参加ください。(森課長)